



茨城県歯科医師会 Ibaraki Dental Association

February **2016** 平成28年



茨歯会報 No.562



Contents

デンタルアイ	1
会務	4
理事会報告	5
会務日誌	6
学校歯科委員会だより	10
センターだより	14
新年会だより	17
地区歯科医師会だより — 大森陽 一	28
ピンクのエプロン	34
若 松 裕 美	
リレー通信	35
小 林 秀 樹	
追悼	37
会員の異動	38
国保組合 NEWS ————————————————————————————————————	39
事務連絡	40
赤えんぴつ	41

表紙写真について -

茨城県フラワーパーク

(社)茨城西南歯科医師会 小野 道範

± http://www.ibasikai.or.jp/

DENTAL © ye

「学校歯科医の活動指針」の一部 改訂について



理事 千 葉 順 -

会員の先生方には、日頃から学校歯科保健の 推進に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げ ます。

さて、今年の4月から学校歯科検診の検診基準が一部変更となり、また、今回の改訂では、かかりつけ歯科医による継続的な指導・管理(特にCO要相談)もさらに重点が置かれています。学校歯科保健活動に携わる学校歯科医の先生方のみならず、一般会員の先生方も今回の改正をご周知いただき、かかりつけ歯科医として児童・生徒の健康管理ならびに治療のご協力をお願いいたします。

改訂の経緯ですが、平成25年、文部科学省に「今後の健康診断の在り方等に関する検討会」が設置され、そこでまとめられた「今後の健康診断の在り方等に関する意見」により、健康診断の目的と役割は、「健康志向」の観点から子どもの疾病リスクをスクリーニングし、その健康状態を把握するとともに、学校での健康課題を明らかにし健康教育の充実に役立てることが明記されました。この意見を受けて学校保健安全法施行規則の一部改正が平成26年4月に通知され、今年の4月から完全実施されます。

学校保健安全法施行規則の主な改正点は、

1. 健康診断をより効果的に行うため、事前

- の「健康調査」を全学年で実施する(幼稚 園、大学においては必要と認めるとき)。
- 2. 事後措置の一環として、「健康診断結果 のお知らせ」を全員に出す。

というものです。

これに伴い、一般社団法人日本学校歯科医会 (以下、日学歯)においても歯科健康診断の在 り方を見直し、「学校歯科医の活動指針」が一 部改訂となり、検診基準も一部変更になった次 第です。

その基本となる学校歯科保健活動の考えを列 記しますと、

- 1. 子どもが自らの発育・健康状態を把握できるようなスクリーニングのあり方
- 2. その結果に対する予防法、対処法などを 教える保健教育
- 3. 実際に対処する能力を身につけさせる保 健管理
- 4. これらの教育活動を実現するために必要な 「学校保健安全計画の立案」、「組織活動」 から成ります。

つまり学校歯科保健は、「疾病や異常の発見 だけでなく、健診の結果むし歯や歯周疾患がな かった児童・生徒が「良かった」で終わるので はなく、子どもが自らの発育・健康状態を把握 し、その健康の保持増進を図る能力を身につけ させる。」という学校教育の考えと、生きる力 を育む、知・徳・体のバランスのよい発育を目 指すための学校保健・安全の役割に重点が置か れています。

このことを勘案し、「要治療の者だけでなく 要指導の者もスクリーニングする必要がある」 との趣旨に沿うよう「歯・口腔の健康診断結果 のお知らせ」の「雛形」を改訂し、茨歯会ホームページに掲載(「本会HP>医療関係者の皆 様へ>学校歯科保健関係者の皆様へ」)しまし たのでご活用ください。

話が堅苦しくなってしまいましたが、以下が 学校歯科検診基準の変更点の概要ですので、学 校歯科医の先生方はご留意いただき、4月から の検診にご協力お願いいたします。

また、繰り返しになりますが、一般会員の先 生方もご周知いただき、かかりつけ歯科医とし て学校歯科医との連携を深めていただければ幸 いです。

<変更点の概要>

学校歯科医の活動指針(平成27年改訂版) 【著:日本学校歯科医会】は、「本会HP>医療関係者の皆様へ>学校歯科保健関係者の皆様

へ」へ掲載してありますのでご参照ください。

- 1. 歯列・咬合の異常に対する基本的な判定 基準の中で逆被蓋
- ・反対咬合(逆被蓋):前歯部2歯以上の逆 被蓋(以前は3歯以上)

(学校歯科医の活動指針 平成27年度改訂版P51~53)

- 2. CO要相談
- ・以前のCO要精検からCO要相談に変更。学 校歯科医の所見欄にCO要相談と記入。
- ・隣接面や修復物下部の着色変化、以下のア やイの状態が多数認められる場合等、地域

の歯科医療機関との連携が必要な場合が該 当する。

- ア. 小窩裂孔において、エナメル質の実質欠 損は認められないが、褐色、黒色などの 着色や白濁が認められるもの。
- イ. 平滑面において、脱灰を疑わしめる白濁 や褐色斑等が認められるがエナメル質の 実質欠損(う窩)の確認が明らかでない もの。

(学校歯科医の活動指針 平成27年度改訂版 P55、P56)

- 3. サ (サホライド塗布歯)
 - ② (シーラント処置歯)
- ・ ⊕: COと同様の扱いとするが、治療を要する場合はCとする。サホライド塗布歯であることを歯式に記載の必要があれば⊕の記号を使用する。
- ・②: 健全歯の扱い。歯式に記載の必要があれば②の記号を使用する。

(学校歯科医の活動指針 平成27年度改訂版 P54表12)

4. 保健調査

・健康診断を的確かつ円滑に施行するため、 当該健康診断を行うに当たっては、小学 校、中学校、高等学校、および高等専門学 校においては全学年において、幼稚園およ び大学においては必要と認めるときに、あ らかじめ児童生徒等の発育、健康状態等に 関する調査を行うものとする。(学校保健 安全法施行規則 平成28年4月1日)

(学校歯科医の活動指針 平成27年度改訂版 P39~41)

以上 変更点の概要

尚、「本会HP>医療関係者の皆様へ>学校 歯科保健関係者の皆様」

(http://www.ibasikai.or.jp/?page_id=78) に、先に述べた「健診結果のお知らせ」、「学 校歯科医の活動指針(平成27年改訂版)【著:

日本学校歯科医会】」をはじめ、以下の関係資料を掲載してあります。今回の改定の確認や日頃の学校歯科保健活動の資料としてご活用ください。

<本会ホームページ掲載資料>

- ・学校歯科医の活動指針(平成27年改訂版)【著:日本学校歯科医会】
- ・学校歯科医の活動指針(平成27年改訂版) 〜特に健康診断についての改定の要点〜
- ・健康診断の流れと要点【著:日本学校歯科医会】
- ・平成28年度歯科健康診断基準の主な変更点
- ・「歯・口腔の健康診断結果のお知らせ」の 雛形(改訂版)
- · 「CO要相談」に関するパワーポイント資料
- ・「CO要相談」に関するWord資料
- ・学校歯科保健指導用パワーポイント素材 「むし歯と歯周病の進行」 「どうしてむし歯ができるのでしょう」

学校歯科委員会では上記の内容を踏まえ、1 月24日(日) 茨歯会館において「日学歯学校 歯科医生涯研修制度」基礎研修会(「茨城県歯 科医師会学校歯科医研修会」併催)を開催しま した。ご参加いただいた多くの先生方、ご協力 大変ありがとうございました。また、3月6日 (日) 水戸プラザホテルで開催される第24回茨 城県歯科医学会では、改訂の内容を詳しくポス ター発表しますので、是非ご来場ください。

尚、日本学校歯科医会に未入会の学校歯科医 の先生におかれましては、今回の改正を機会 に、なにとぞ日学歯へご入会いただきたくお願 いいたします。

問合せ: 茨城県歯科医師会 事務局 電話 0292-52-2561



会務

新年会開催

1月21日(木)午後4時から、水戸プラザホテルにおいて、恒例の茨歯会新年会が橋本昌知事をはじめ国会議員、関係団体などから約90名の方々のご出席を得て盛大に開催された。



国歌斉唱のあと、挨拶に立った森永会長は「2025年には団塊の世代が75歳を迎え後期高齢者になるということでございます。ここで我々が考えなければならないのは、すなわち生活を支える医療、そして、心の医療というものが重要になってくるのではないかと思っています。予防医療への転換というものを我々が考えていかなければならないと考えております。今年は挑戦・変革を求めつつも自分の自制心を持った、いわゆるchallenge、change、control。この頭文字をとって3Cをモットーにしてこの1年間頑張ってまいりたいと思っております。|と述べた。



祝辞では、橋本昌知事が、「昨年の関東東北豪雨に際しましては、お医者さん方とチームを組んで巡回診療をやっていただきました。また、歯科

口腔ケアについての啓発事業などもやっていただいたところです。この関東東北豪雨における医療応援の体制については、中央防災会議の中にワーキンググループが立ち上げられていますが、その中でも、だいぶうまくいったのではないかということで、後日ヒアリングするといったことも行われるところです。これからも四師会協力し合ってよりよい体制を平常時から含めてやっていただければ大変有難いと思っています。」と。続いて、岡田広参議院議員、藤田幸久参議院議員、石井みどり参議院議員、上月良祐参議院議員、大畠章宏衆議院議員が祝辞を述べ、石渡勇県医師会副会長の乾杯の発声により祝宴となった。



アトラクションではオペラ歌手である志摩大喜様の独唱があり、晴れやかな新春の祝いをより一 層盛り上げた。



理事会關告 🧶

第11回理事会

日時 平成28年1月21日 (木) 午後2時 場所 水戸プラザホテル

1. 報 牛

- (1) 一般会務報告
- (3) 会員の県外異動について
- (4) 後援依頼 消防団を中核とした地域防災力 充実強化大会
- (5) 1月開業予定の歯科医院について
- (6) 第24回茨城県歯科医学会について
- (7) 時間外労働・休日労働に関する協定について
- (8) 各委員会報告について 社会保険委員会

2. 協議事項

- (1) 平成27年度運営補助について (歯科衛生士会) 標記補助について承認した。
- (2) 在宅歯科医療連携室運営委員会について 標記運営委員会の設置について承認した。
- (3) 第160回臨時代議員会について 標記代議員会の開催について承認した。
- (4) 茨歯会新年会について 標記新年会について、次第、来賓等確認した。
- (5) その他 茨城県歯科医学会会場に託児室を設ける方 向で検討することについて承認した。

アイ・デー・エスは…

師 賠 償 責 任 保 瞬 臉 保 車 保 臉

保 **}** 胟 小規模企業共済 簢 俞

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。 (アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

> アイ・デー・エス 有限会社

男 代表取締役 永 和

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

会務日誌

1月21日 茨城県学校保健・学校安全研究大会が県民文化センターにて開催される。よい歯の学校などの学校保健・学校安全関係表彰の後、実践発表、その後に「性に関する指導の在り方」について講演が行われた。なお、席上、石津貞之氏(鹿嶋市)ほか12名が県学校保健会長表彰を受けられた。

出席者 森永会長

- 1月21日 第1回一般入学試験を実施。歯科衛生士科に5名、歯科技工士科に1名の受験者があり、 同日行った合否決定委員会にて、歯科衛生士科は5名、歯科技工士科は1名を合格とした。
- **1月21日** 鬼怒川水害対応に係る懇談会を県の担当者を交えて開催。出席者の紹介、時系列を追っての対応と問題点の抽出の後、行政側への質問などを行った。

出席者 小林県厚生総務主席医療指導官ほか3名 森永会長ほか12名

- 1月21日 第11回理事会を水戸プラザホテルにて開催。平成27年度運営補助(歯科衛生士会)、在宅 歯科医療連携室運営委員会、第160回臨時代議員会、茨歯会新年会について協議を行った。 出席者 森永会長ほか18名
- 1月21日 第10回広報委員会を開催。会報1月号の校正、会報2月号の編集、赤えんぴつ、各地区新年会報告について協議を行った。

出席者 小林広報委員長ほか4名

- 1月21日 平成28年新年会を水戸プラザホテルにて開催。橋本県知事を始め、衆・参議院議員も招い ての開催となり、来賓、会員など合わせて98名が新年を祝った。
- 1月21日 第2回総務委員会を水戸市内にて開催。今後の医事紛争処理について協議を行った。 出席者 村居総務部長ほか8名
- 1月24日 日学歯「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会・茨歯会学校歯科医研修会を開催。学校歯科保健に関する概論の後、学校歯科保健における保健教育、保健管理、組織活動、学校歯科保健の実践例について研修を行った。

受講者60名

1月25日 茨城県後発医薬品の使用促進検討会議が健康プラザにて開催され、今年度の事業内容及び 結果ほかについて協議が行われた。

出席者 征矢専務

対象医療機関数3

- 1月26日 県栄養士会の新春懇談会が水戸京成ホテルにて開催された。 出席者 森永会長
- 1月27日 保険医療機関を対象としての個別指導が厚生局茨城事務所にて行われた。
- 1月27日 茨城県地域・職域連携推進協議会が県立健康プラザにて開催され、特定保健指導の取り組

みほかについて協議が行われた。

出席者 森永会長

1月28日 第8回地域保健委員会を開催し、噛むかむレシピコンテスト審査資料の確認や審査会実施 方法などについての協議を行った。

出席者 渡辺地域保健部長ほか11名

1月28日 奥羽大学歯学部と本会の間で身元確認活動に関する協定の調印式を執り行い、協定を更新した。

出席者 村居常務ほか2名

1月28日 「噛むかむレシピコンテスト審査会」を開催。歯や口の健康のためによく噛むメニューの 応募レシピ(905作品:小学生以下の部319、一般の部586)から審査により、噛むかむレシ ピ賞12作品を決定した。

出席者 中川学園調理技術専門料理教室代表ほか5名 森永会長ほか7名

1月28日 第1回茨城県後期高齢者医療広域連合運営懇談会が赤塚ミオスにて開催され、平成26年度 及び平成27年度の医療費等の状況ほかについて協議が行われた。

出席者 征矢専務

- 1月28日 東京医科大学茨城医療センター主催の医療連携懇談会がつくば市にて開催された。 出席者 森永会長ほか1名
- 1月28日 茨城県要保護児童対策地域協議会保健・医療部会が県庁舎にて開催され、要保護児童対策 の現状ほかについて協議が行われた。

出席者 小林常務

1月30日 関東ブロックHIV歯科医療体制連絡協議会が新宿区「国立国際医療研究センター病院」に て開催され、各府県におけるHIV感染者の歯科診療体制について協議が行われた。

出席者 菱沼理事

- **2月 2日** 茨城県こどもを守る110番の家ネットワーク会議が県警本部にて開催された。 出席者 千葉理事
- **2月 3日** 学校保健推進協議会が県医師会にて開催され、各関係機関から提出された事項についての 協議、平成27年度学校保健関係事業の概要についての報告が行われた。

出席者 森永会長ほか2名

2月 4日 第8回厚生委員会を開催。茨城県歯科医学会企画、茨歯会ソフトボール大会について協議を行った。

出席者 増本厚生部長ほか5名

2月 4日 第2回茨城県認知症施策推進会議が県庁舎にて開催され、認知症疾患医療センターの指定について協議が行われた。

出席者 森永会長

2月 4日 茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議が県医師会にて開催され、今後の拠点病院等連絡会議及び研修会の運営方針ほかについて協議が行われた。

出席者 菱沼理事

2月 5日 茨城政経懇話会2月例会が水戸京成ホテルにて開催された。

出席者 森永会長

2月 6日 第6回学術委員会を開催。歯科医学会、プラザホテル・イングトップ担当者との打ち合わせ、がん医科歯科連携講習会、HIV医療講習会について協議を行った。

出席者 岡﨑学術部長ほか11名

2月 6日 第4回介護保険委員会を日立市内にて開催。茨城県後期高齢者医療広域連合歯科健診における診査要綱、次年度事業計画について協議を行った。

出席者 小野寺介護保険部長ほか7名

2月 7日 マウスガード製作実習講習会を開催し、カスタムマウスガードのラミネート法(2層の積層法)を作製する実習を行った。

受講者 22名

2月 7日 全国共通がん医科歯科連携講習会を開催。がん医療に携わる人材育成事業、周術前・周 術期、在宅を含めた緩和ケアに携わる歯科医師の人材育成を目的に、DVDによる講習会の 後、連携登録用紙の記入・修了証交付を行った。

受講者 22名

2月 7日 介護保険講習会を日立歯科医師会との共催により、ホテル天地閣にて開催。「食べること が困難な人への理解と支援」をテーマに講習を行った。

受講者 129名

2月 9日 茨城県エイズ対策委員会が県庁舎にて開催され、エイズ治療拠点病院の取組等ほかについて協議が行われた。

出席者 村居常務

- **2月10日** 県栄養士会の主催により第14回県栄養健康改善学会がつくば国際大学にて開催された。 出席者 森永会長
- 2月10日 第10回社会保険正副委員長会議を開催。第10回委員会、指導、合同協議会、理事会、審 査内容、社保委員用改定説明会、地区会員用改定資料、地区改定説明会の委員の日当につい て協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか2名

2月10日 第2回講師会を開催し、卒業判定及び単位認定、成績優秀者・皆出席者及び特待生の選 考、次年度行事日程等について協議を行った。

出席者 小鹿校長ほか16名

2月10日 第10回社会保険委員会を開催。「保険請求のQ&A」、合同協議会、点数改定について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか19名

2月10日 第2回学校運営委員会を開催。次年度備品購入計画、入学試験、オープンキャンパス、体験入学日程等について協議を行った。

出席者 森永会長ほか13名

2月10日 第2回センター運営委員会を開催。平成28年度事業計画(案)、備品購入計画(案)つい

て協議を行った。

出席者 森永会長ほか11名

2月10日 HIV医療講習会をホテルグランド東雲にて開催。「歯科診療で役に立つHIV感染症の基礎知識」をテーマに筑波大学医学医療系臨床医学域顎口腔外科学講師の山縣憲司先生が講演された。

受講者 52名

2月12日 第3回茨城県食育推進計画(第三次)策定委員会が県庁にて開催され、新計画の最終案の協議を行った。

出席者 藤田

2月13日 茨城県歯科大学同窓会・校友会懇話会が水戸京成ホテルにて開催された。

出席者 森永会長

2月14日 口腔センターの主催により障害児・者歯科講習会を霞ヶ浦医療センターにて開催。「発達 障害の理解と支援」〜精神科医にできること〜と題して茨城県立医療大学医学センター准教 授の山川百合子先生が講演された。

出席者 102名

2月15日 労働保険事務組合事務担当者会議が開催され、雇用保険業務におけるマイナンバーの取扱 ほかについて説明が行われた。

出席者 須能

2月15日 茨城県医療審議会が県薬剤師会にて開催。医療法人部会では医療法人の設立認可・解散認可について協議が行われた。保健医療計画部会では第6次保健医療計画の進捗状況について協議された。

出席者 森永会長

2月16日 日学歯加盟団体長会が日歯会館にて開催され、平成28年度事業計画案の大綱、収入支出予 算案の大綱について協議が行われた。

出席者 千葉日学歯代表会員

2月17日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 4

2月17日 県民健康づくり表彰式が県庁舎9階講堂にて開催された。

出席者 森永会長

2月17日 茨城県地方薬事審議会が県薬剤師会館にて開催され、医薬品医療機器法第75条第1項の規定による処分の基準及び不利益処分の公表基準について審議を行った。

出席者 森永会長

2月17日 日歯の主催による「がん診療医科歯科連携推進協議会」が日歯会館にて開催され、がん診療医科歯科連携事業における歯科医師・医科関係者へのさらなる周知・普及を目的とした意見交換等が行われた。

出席者 岡崎学術担当理事、小島県立中央病院センター長

学校情和素质

日本学校歯科医会 学校歯科医生涯研修制度 基礎研修会 併催 茨城県歯科医師会 学校歯科医研修会 報告

椎名 学校歯科委員会 和郎

平成28年1月24日(日) 茨城県歯科医師会館に おいて60名の方に参加いただき上記研修会が開催 されました。内容は以下のとおりです。

学校歯科保健の実践例

高木 幸江 先生

講義(1)「学校歯科保健概論」

田崎 良生 先生

講義(2)「学校歯科保健における保健教育」 柴岡 永子 先生

講義(3)「学校歯科保健における保健管理| 渡辺 義弘 先生

講義(4)「学校歯科保健における組織活動」 藤縄 弘行 先生

今回は高木幸江先生に山ノ荘小学校での歯科保 健活動の様子を紹介していただくことで、より実 践的な内容にしました。

平成28年度より学校歯科検診の検診基準が一 部変更になります。主な変更点は以下のとおりで す。

- 1. 歯列・咬合の異常に対する基本的な判定基 準の中で逆被蓋
- ・反対咬合(逆被蓋):前歯部2歯以上の逆被蓋 (以前は3歯以上)

(学校歯科医の活動指針 平成27年改訂版 P51~53)

2. CO要相談

・以前のCO要精検からCO要相談に変更。学校

歯科医の所見欄にCO要相談と記入。

- ・隣接面や修復物下部の着色変化、アやイの状 態が多数認められる場合等、地域の歯科医療 機関との連携が必要な場合が該当する。
 - ア. 小窩裂溝において、エナメル質の実質欠 損は認められないが、褐色、黒色などの 着色や白濁が認められるもの。
 - イ. 平滑面において、脱灰を疑わしめる白濁 や褐色斑等が認められるがエナメル質の 実質欠損(う窩)の確認が明らかでない もの

(学校歯科医の活動指針 平成27年改訂版 P55、P56)

- 3. (サイカイド塗布歯) · ② (シーラント 処置歯)
- ・サ:COと同様の扱いとするが、治療を要する 場合はCとする。サホライド塗布歯であるこ とを歯式に記載の必要があれば⑪の記号を使 用する。
- ・②:健全歯の扱い。歯式に記載の必要があれ ば②の記号を使用する。

(学校歯科医の活動指針 平成27年改訂版 P54表12)

4. 保健調査

- ・学校保健安全法施行規則の一部改正が公布さ れ、平成28年4月1日より施行される。
- ・第11条 法第13条の健康診断を的確かつ円

滑に施行するため、当該健康診断を行うに当 たっては、小学校、中学校、高等学校、およ び高等専門学校においては全学年において、 幼稚園および大学においては必要と認めると きに、あらかじめ児童生徒等の発育、健康状 態等に関する調査を行うものとする。(学校 保健安全法施行規則 平成28年4月1日)

(学校歯科医の活動指針 平成27年改訂版 P39~41)

これ以外に「学校歯科健康診断における歯列・ 咬合および顎関節の診断基準の見直ししというの が「学校歯科医の活動指針 平成27年改訂版」の 付録として出され、歯列・咬合の基準について以 下のようになりました。

・判定の目安となる数値などを示すことは必ず しも有効とは思えない。

- ・子どもの将来の口腔健康にとってその状態が どのようなリスクを持つ可能性があるのかを 説明し、理解させることが大切である。
- ・そのためには、健康相談、保健指導を重視す

つまり、今まで歯列・咬合の診断基準に使われ ていた数値は目安で、子どもの将来的なリスクを 重視すべきだということです。そこで、多数の症 例写真をご覧いただき、判断の一助としていただ くようにしました。

今後、茨城県歯科医学会においても歯科健康診 断基準をポスター展示させていただくことになっ ておりますので、ご不明な点があればそのときに ご質問ください。よろしくお願いいたします。

平成27年度 茨城県学校保健・学校安全研究大会 報告

千葉 順一 学校歯科委員会

平成27年度 茨城県学校保健・学校安全研究大 会が平成28年1月21日(木) 茨城県教育委員会・ 茨城県学校保健会・茨城県歯科医師会の主催によ り茨城県立県民文化センター大ホールにおいて以 下のプログラムで開催されました。

- 1. 開会行事、平成27年度学校保健・学校安全関 係表彰(10:00~11:00)
 - (1) 茨城県健康推進学校
 - (2) 茨城県よい歯の学校
 - (3) 茨城県学校保健功労者

2. 講演(11:00~12:00)

演題:「性に関する指導の在り方について|

講師:廣原 紀恵 (茨城大学教育学部教育保健

教室 准教授)

3. 実践発表(13:00~14:00)

「性に関する指導の手引き」について

発表者:性に関する指導の在り方検討委員 他

4. 実践研究発表(14:00~14:40)

平成25·26·27年度 学校保健·学校安全研 究推進校

「心身ともに健康で、安全な生活を送ることが

できる力を見に付けた生徒の育成」 - 自ら考え、判断し、実践する力を育てる保健体育・道徳・特別活動の実践を通して -

取手市立取手第二中学校 教諭 立澤 聡子 養護教諭 中村 まさえ

5. 講演

演題:児童生徒の精神疾患について

講師:堀 孝文 (茨城県立こころの医療センター 副院長)

6. 行政説明(15:40~16:00)

7. 閉会(16:00)

1. 平成27年度学校保健・学校安全関係表彰

開会行事の後、まず平成27年度学校保健・学校 安全関係表彰が行われました。以下に表彰内容を 列記します。

※茨城県健康推進校

(1)最優秀校(2校)鉾田市立旭西小学校かすみがうら市立志筑小学校

(2) 優秀校(9校)

那珂市立第一中学校 ひたちなか市立阿字ヶ浦小学校 北茨城市立精華小学校、神栖市立軽野東小学校 鹿嶋市立平井小学校、土浦市立神立小学校 土浦市立土浦第六中学校

竜ケ崎市立城ノ内中学校、坂東市立七郷小学校 ※茨城県よい歯の学校

(1) 茨城県教育委員会教育長賞

小学校(10校)

水戸市立内原小学校、小美玉市立野田小学校 茨城町立長岡小学校、茨城町立大戸小学校 城里町立石塚小学校、北茨城市立中妻小学校 かすみがうら市立上佐谷小学校 筑西市立河間小学校、常総市立五箇小学校 桜川市立大国小学校 中学校(6校)

水戸市立双葉台中学校 ひたちなか市立勝田第一中学校 城里町立桂中学校、日立市立豊浦中学校 鉾田市立鉾田北中学校、河内町立河内中学校 高等学校(2校)

県立高萩高等学校、県立並木中等教育学校 特別支援学校(1 校)

県立内原特別支援学校

(2) 茨城県歯科医師会長賞

小学校(6校)

那珂市立菅谷小学校、日立市立山部小学校 神栖市立柳川小学校、土浦市立藤沢小学校 つくば市立菅間小学校、下妻市立大宝小学校 中学校(2校)

日立市立台原中学校、筑西市立下館中学校 高等学校(1校)

県立竹園高等学校

特別支援学校(1校)

茨城大学教育学部附属特別支援学校

※茨城県学校保健会長ほう賞

学校医(13名)、学校歯科医(13名)

学校薬剤師(7名)、学校長(10名)

保健主事(3名)、養護教諭(15名)

栄養教諭・学校栄養職員(5名)

団体(3校):大子町立だいご小学校、大子町立 袋田小学校、大子町立大子中学校

学校歯科医のほう賞選考の対象は、おおむね55歳以上・学校歯科医歴25年となりますが、今年は以下の13名の先生がその栄誉に浴されました。おめでとうございます。

石津貞之、一木 努、今井義文、大峰秀樹、 小川 守、川口 浩、杉山富雄、鈴木宏昭、 高野一夫、戸頃正人、長池澄男、本間百合子、 村居幸夫(敬称略)

各学校の受賞は担当されております先生方の日頃 からのご尽力の賜物であり、今後とも学校保健・学 校安全の推進にご協力をお願いいたします。

2. 講演

表彰の後、講師の廣原紀恵先生(茨城大学教育 学部教育保健教室 准教授)による「性に関する 指導の在り方について」の講演がありました。

小・中・高校生向け性教育、思春期の性教育、 道徳教育と性に関わる指導など、生きる力を育み 将来へつながる性教育として社会に出るまでに伝 えるべきことをご講演されました。

3. 実践発表

昼食を挟んで午後はまず実践発表として、性に 関する指導の在り方検討委員から、小学校、中学 校、高等学校、各年代における性に関する指導を まとめた、「性に関する指導の手引き」の紹介が ありました。

概要は、すべての子どもに対して、人間尊重、 男女平等の精神の徹底を図るとともに、人間の性 に関する基礎的・基本的事項を正しく理解させ、 同性や異性との人間関係や現在及び将来において 直面する性に関する諸問題に対して、適切な意志 決定や行動選択ができるよう指導を充実し、教職 員の共通理解の下に、家庭や地域と連携を図りな がら、各校の年間計画に位置づけ、組織的かつ計 画的に行うという内容であり、エイズや性感染症 および望まない妊娠の予防、性に関する環境およ び情報への対処などの具体的な指導法が紹介され ました。

4. 実践研究発表

続いて、平成25・26・27年度学校保健・学校 安全研究推進校の取手市立取手第二中学校 立澤 聡子教諭、中村まさえ養護教諭から「心身ともに 健康で、安全な生活を送ることができる力を身に 付けた生徒の育成」-自ら考え、判断し、実践す る力を育てる保健体育・道徳・特別活動の実践を 通して-の実践発表がありました。「食生活と健 康」を中心とした保健学習、「食育の観点をふま えた学校給食と望ましい食習慣の形成」を踏まえ た学級活動、「基本的な生活習慣・調和のある生 活 | を学ぶ道徳、これらを柱とした同校での学校 保健活動の実践が紹介されました。

5. 講演

ひき続き、講師の堀 孝文先生(茨城県立ここ ろの医療センター 副院長) により「児童生徒の 精神疾患について」の講演がありました。

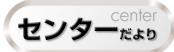
児童生徒の主な精神症状や、対人関係や自己表 現の問題・不安やうつ・社会生活の困難さ、など の各年代における問題の特徴について説明があ り、各論では、チック、総合失調症、気分障害、 外傷性ストレス障害、社交不安障害、強迫性障 害、摂食障害など、それぞれの精神疾患について 具体的な解説がありました。

6. 行政説明

最後に保健体育課から、通学時の交通安全につ いて、また原子力災害を想定した危機管理マニュ アルの中から対応の主な流れ、在校時の対応、登 下校時の対応について行政説明があり、盛会のう ちに閉会となりました。

児童・生徒を取り巻く社会環境の目まぐるしい 変化に伴い、学校では様々な問題・課題が山積し ており、それらに取り組む教職員の方々の熱意を あらためて感じる大会でした。





平成27年度摂食嚥下研修会を開催して

口腔センター水戸

三田村 佐智代、野村 美奈、鈴木 哉絵 鬼澤璃沙、山下千春、村居幸夫 征矢 巨、森永 和男

茨城県身体障害者小児歯科治療センターでは現 在、週2日の摂食嚥下外来を開設しています。毎 週火曜日は、歯科医師1名と歯科衛生士2名が担 当し、毎週水曜日は歯科衛生士2名が担当してい ます。年々、医療機関や学校、就学前施設からの 紹介で来院される方が多くみられるようになりま した。これは、障害児・者に関わる多くの医療従 事者、支援者がより食べることに関心を示し、地 域で取り組んでいく意識が根付いてきているのだ と考えます。それに伴い、関わる者が摂食嚥下の 基礎的な知識や応用技術などについて共通理解の もとに包括的に支援を行っていく必要性がより求 められるようになってきました。茨城県歯科医師 会では平成24年度より障害児・者の食べる機能を 育て支援するための知識の普及と関係者の技術の 向上を目的とした摂食嚥下研修会を開催してまい りました。過去のアンケートを基にプログラムの マイナーチェンジを行い、より受講者の希望に合 わせた研修会を開催してきました。平成27年度も 受講者に対し、アンケート調査を実施いたしまし たので、内容および結果についてご報告させてい ただきます。なお、アンケート調査は第6回研修 会開催後にアンケートを配布し記入をお願いした 124名の回答について集計しました。

○プログラム

.			
月日	時間	内 容	
H27.7.7	18:20~19:50	第1回講義	食べるための構造とメカニズム
H27. 8.25	18:20~19:50	第2回講義	哺乳・離乳期の発達とその障害
H27. 9.29	18:20~19:50	第3回講義	自食機能の発達とその障害
H27.10.27	18:20~19:50	第4回実習	摂食嚥下機能訓練の実際-間接訓練-
H27.11.24	18:20~19:50	第5回実習	摂食嚥下機能訓練の実際-直接訓練-
H27.12.6	10:00~16:00	第6回講義 症例検討会	摂食嚥下機能障害への対応 -各障害における摂食指導の実際-

○受講登録者の職場の地域

水戸市	54名	高萩市	4名	東京都	1名
茨城町	11名	常陸大宮市	3名	筑西市	1名
鉾田市	7名	坂東市	3名	常総市	1名
ひたちなか市	6名	東海村	3名	牛久市	1名
笠間市	6名	守谷市	2名	石岡市	1名
つくば市	5名	宮城県仙台市	2名	阿見町	1名
日立市	4名	常陸太田市	2名		
土浦市	4名	那珂市	2名	合計	124名

○受講登録者の職種

受講者の職種は多岐にわたっており、昨年度よ り医療関係者の参加が多くみられました。昨年ま での教育現場での摂食嚥下指導の普及に加え、生

活と医療と教育の関係確立は障害児・者がより地 域で安全で楽しい食事を実践するうえでは欠かせ ないことであり、さらなる充足を図る必要がある と考えます。

支援員・生活支援員	23名	医師	6名	福祉施設職員	1名
教諭・特別支援学校教諭	16名	児童・発達指導員	5名		
歯科衛生士	15名	歯科助手	5名		
看護師	13名	保育士	3名		
歯科医師	9名	介護士・介護支援	2名		
言語聴覚士	9名	ケースワーカー	1名		
作業療法士	7名	薬剤師	1名		
栄養士・管理栄養士	7名	栄養教諭	1名	合計	124名

○研修会開催回数について

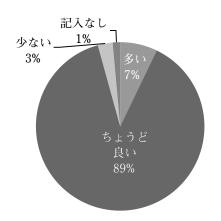
研修会開催回数は6回であり、不定期な日程でし たが、約9割の者から「ちょうど良い」と回答が得 られました。プログラムの構成として、1~5回目 は基礎的な内容であり6回目は応用として実践的な 評価方法や事例検討会を行っているため、初めて参 加される方でもリピーターの方でも、内容も回数も 満足いただける構成であったと考えます。

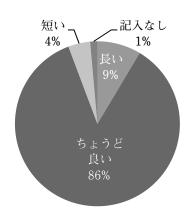
○講義および実習時間について

研修会は講義や実習時間と質疑応答を含め90分 間で実施をしました。回答では86%の方が「ちょ うど良い | とされていました。しかし、「長い | と回答された方が9%おり、希望時間は60分でし た。火曜日の夕方に開催しているため、受講者の 集中力や疲労により90分を長く感じているのかも しれません。資料等を充実させ、短い時間で具体 的な知識・技術の習得に時間をかけても良いのか もしれません。

○講義および実習の理解度

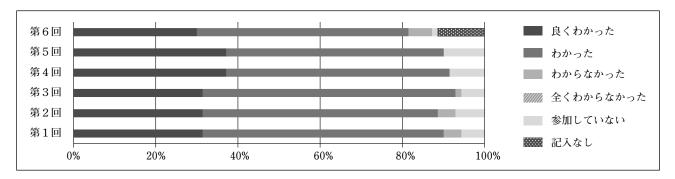
講義内容は、摂食嚥下に関わる生理学や解剖学 から始まり、発達とその障害、実際の機能訓練、 障害別の対応と系統立てたプログラムとしまし た。また、6回目は、多職種編成による10名程度 のグループでVTRを見ながら評価・問題点の抽





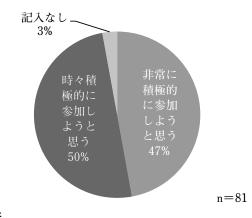
出・支援方法を話し合っていただき、発表を行い ました。これにより、5回目までの知識を実際に 用い、話し合うことでより知識の定着ができたと

考えます。そのため、毎回8割以上の方が「良く わかった」、「わかった」と回答しており、研修 会の目的は達成できたと思われます。



○今後の摂食嚥下研修会への参加

同様の研修会を企画した場合に「参加を希望さ れるか | の質問に対して、47%の方が「非常に積 極的に参加しようと思う」、50%の方が「時々 積極的に参加しようと思う」と回答し、「参加し たくない」と回答した者は0%でした。具体的に 希望される内容としては、事例検討、評価方法や 検査方法、実技の充実、調理方法、高齢者向けの 研修、成人の発達障害者への対応、基礎的内容な どがあげられました。また、中には、実際に外来 での研修を希望される方もいらっしゃいました。 多職種が参加する研修会なので、それぞれの職種 が必要とする情報を深く提供することができない のが課題と考えます。そして、多くの参加者が研 修会を必要と感じており、研修会に参加すること で知識や技術の習得のみならず、実際に顔をあわ せ、それぞれの現場の問題を質疑応答などで提示 していただくことで生活と医療と教育の関係確立 の一助になっていると思われました。今後も、何 らかの方法で情報の共有ができればと思います。



○謝辞

平成24年度より摂食嚥下研修会の開催に快く同 意して下さった、森永会長をはじめ、歯科医師会 の先生方に深く感謝いたします。また、事前準備 や当日運営等、ご苦労をおかけいたしました口腔 センター水戸のスタッフに感謝いたします。











2月13日(土)平成27年度茨城県各歯科大学同 窓会・校友会懇話会に出席した。この会合を知ら ない先生方も多いかもしれないが、各大学の同窓 会・校友会から2名ずつ出席して親交を深める場 である(今年は徳島大学歯学部がサプライズ参加)。 以前は実際に懇話会が行われ、終了後に懇親会の 流れであったが、各先生方ご多忙の中出席の為、 近年は懇親会のみ行われている。自分は9年連続 10回目の出席となった。相方は17年連続17回目の 出席と殿堂入りも近いのではないだろうか。それ とも、これは単なる罰ゲームか。 4、5年で出席 者が交代している大学が多いにもかかわらず、こ れだけ長期に渡り固定化されているのは、やはり 当大学の同窓生の少なさに他ならない。茨歯会会 員は7名。その他勤務医も含めて10名前後。懇親 会終了後に駅前の居酒屋に数人の同窓生が集まり、 交流を深めるのが毎年唯一の同窓会活動となって いる。しかし、2年後には2度目の主管校との大 役が回ってくる。思い起こせば初の主管校になっ た時、初めて県内の同窓生全員と顔を合わせる機 会となった。また再来年、全員集合の時期が来る のか。

(hiro)

先日、大阪にいる大学の同級生に会いに行って きました。せっかく大阪に行くならと10年近くぶ りにUSJに行く事になりました。私が以前行った 時はあまり混んでなく、待ち時間もそれほどなく 楽しめました。当日平日にもかかわらず、新しい

アトラクションが出来たせいか、かなりの混雑で した。

事前に少し早く入るチケットを購入し、15分前 に入場し、ハリーポッターに猛ダッシュして行き ました。ダッシュのお蔭でハリーポッターアンド ザフォービドゥンジャーニーに朝1番に乗れまし た。3D映像を見ながら乗り物に乗るアトラクショ ンですが、リアルな映像の凄さと乗り物の横揺れ にかなり酔いました。正直、早く終わってほしい 感じでした。その後にジョーズに乗り、落ち着い たところで、バックトゥーザフューチャーに行き ました。ハリーポッターほどではありませんが、 ちょっと酔いました。その後休憩し、落ち着いた 所で、きゃりーぱみゅぱみゅXRライドに乗りまし た。今、1番人気の乗り物でかわいい世界を体験 すると聞いていたので、そんなにすごい物ではな いだろうと思っていました。しかし予想とは違い、 ヘッドギア的な装置を頭に付け、横揺れ縦揺れす るジェットコースターのような動きの乗り物でし た。かわいい曲が流れているのは分かりましたが、 よく見ればかわいい物もたくさんあったのかもし れませんが、ほとんど目をつぶっていて、全く見 る余裕もなく、乗り終わった後、顔面蒼白で自分 が10歳位歳を取った気分になりました。いつから こんなに乗り物酔いするようになったのだろうと 思い、年齢のせいかなとちょっと悲しくなりまし たが、昨日寝不足だったからだと自分に言い聞か せました。でも寝不足じゃなくても、もう一回は 乗れないかなと思います。ディズニーランドに比 べると、かなり元気な乗り物が多いUSJでした。

(maru)

つい先日、正月を迎えたと思っていたら、もう 2月も終わり3月になります。最近、特に1年過 ぎるのが本当に早く感じられます。少し前の出来 事だと思っていたら2、3年経っていたなんてこ とは、私の場合ザラです。単に記憶力の問題かも 知れませんが。因に、歳をとる程時間が早く経つ ように感じるこの現象をジャネーの法則と呼ぶそ うです。心理学的には、主観的に記憶される年月 の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短 く評価されるという事で、つまり、生涯のある時 期における時間の心理的長さは年齢に反比例する ということです。例えば、50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の1ほどであるが5歳の人間にとっては5分の1に相当するということになります。逆に1日を長く感じがちなのは年長者。本来、年齢に関係なく時間は平等に流れるものですが。さらに、充実感や満足感を実感できない生活を送っていると特にそのように感じるそうです。妙に、納得してしまう私ですが、後の10ヶ月余りを前向きに進みたいと思います。

(生る)

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科 医師会や同好会・同窓会の様々な活動(研修会、厚生事業)など何でも結構です。会報をフルにご活 用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、 一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail id-05-koho@ibasikai.or.jp

広報委員会

みんなの写真館











今年開園30周年を迎えた茨城県フラワーパークは約30ヘクタールの広大な花と緑の公園です。

(社) 茨城西南歯科医師会 小野 道範

会 員 数

平成28年1月31日現在

支	部	会員数(前月比)			
日	立	123			
珂	北	138			
水	戸	158	- 1		
東西	茨城	75			
鹿	行	104	+1		
土浦	石岡	172			
つ <	、ば	120			
県	南	174			
県	西	153			
西	南	107			
準 会	員	1			
Ē	t	1,325	±Ο		

みんなの写真館写真募集!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,145名 2種会員 44名 終身会員 135名 準会員 1名 合 計 1,325名



茨 歯 会 報

発行日 平成 28 年 2 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ http://www.ibasikai.or.jp/ E-mailアドレス id-O5-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘 編集人 菱沼 一弥



VEGETABLE OIL INK この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。